

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
 このたび下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
 ご利用いただきたくご案内いたします。
 弊社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく
 研鑽を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど
 何卒よろしくお願い申し上げます。

敬 白

記

●実施日

2016年4月7日(木) ご依頼分より

●新規項目内容一覧

項目コード ナビラボコード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
6575 4 01976A903 5	EGFR 変異解析 研究(血漿)	血漿 5.0	↓ ARR (r)	凍 結	4~ 10		PCR (リアル タイム PCR)		<div style="border: 1px solid red; width: 20px; height: 20px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;"></div> <p>●血漿材料について EDTA-2K の採血管で 提出検体量(血漿5mL)を 考慮した充分量を採取し、 採血後、4時間以内に必ず 血漿分離してください。 分離後、直ちに5mL以上 を滅菌ポリスピッツに分 取し凍結保存してくださ い。血漿分取する際には、 白血球成分由来のゲノム DNA の混入を防ぐためデ カンテーションを行わな いでください。 他項目との重複依頼は避 けてください。本検査方法 ではコンタミネーション の影響がより大きくなり ますので、検体の採取にあ たっては取り扱いに十分 ご注意ください。 &cu</p>

●EGFR 変異解析 研究（血漿）

血漿から抽出したセルフリーDNA を用いて EGFR 遺伝子変異を検出する研究項目です。

EGFR 遺伝子検査は、非小細胞肺癌における EGFR チロシンキナーゼ阻害剤（EGFR-TKI）の効果予測を目的として広く普及しています。

本項目は、血漿からセルフリーDNA (cell-free DNA: cf DNA) を抽出し、EGFR 遺伝子変異の検出を行う研究項目です。cf DNA とは、体液中を循環する遊離 DNA であり、壊死・アポトーシスを起こした癌細胞に由来する DNA 断片を含んでいます。血漿による検査は患者にとって侵襲性が低いため、組織を採取することが困難な場合の選択肢として期待されています。

本項目は定性検査となりますが、変異が検出された場合のみ、変異の半定量値（Semi-Quantitative Index: SQI）を併せてご報告いたします。


▼疾患との関連

肺癌（非小細胞肺癌）

▼関連する主な検査項目

肺癌 ALK タンパク（高感度 IHC）
 肺癌 ALK 遺伝子（FISH）
 EML4-ALK 融合遺伝子定性

▼ 検査要項

検査項目名	EGFR 変異解析 研究（血漿）
項目コード ナビラボコード	6575 4 01976A903 5
検体量	血漿（EDTA-2K） 5.0 mL
容 器	→ARR (r) 滅菌ポリスピッツ
保 存 方 法	必ず凍結保存してください。
所 要 日 数	4~10 日
検 査 方 法	PCR（リアルタイム PCR）
実施料	未収載
判断料	未収載
備 考	 <p>●血漿材料について EDTA-2K の採血管で提出検体量(血漿 5mL) を考慮した充分量を採取し、採血後、4 時間以内に必ず血漿分離してください。 分離後、直ちに 5mL 以上を滅菌ポリスピッツに分取し凍結保存してください。血漿分取する際には、白血球成分由来のゲノム DNA の混入を防ぐためデカンテーションを行わないでください。</p> <p>他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体の採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。</p> <p style="text-align: right;">&G</p>

●参考文献

Benlloch S, et al : PLoS One 9(2): e89518, 2014. (検査方法参考文献)
 光富徹哉, 他 : 日本肺癌学会 : EGFR 遺伝子変異検査の手引き第 2.1 版 2014 年.